

**第3次牧之原市総合計画基本構想（案）・前期基本計画（案）
への御意見、御質問**

提出順に記載

番号	意見・質問
1	<p>都市公園が市内に 13 ヶ所とありますが公園名と所在地、それぞれの公園面積を教えてください。</p>
2	<p>子育てがひと段落した頃、目にしたのは地頭方の高い壁でした。お恥ずかしい話、子育てに必死で市政に目を向けることもできませんでした。そしてこれが女性たちの現状ではないかと思えます。そこで今回初めて意見を提出してみようと思いました。</p> <p>1 教育について</p> <p>○起郷家教育→若者が大学進学で市外流出が進むことを危惧されている文章がありました。他の場所での経験、人との出会いは宝になります。他の場所で過ごしても「戻ってきたい」と思えるような町を創ることが重要なのでは。帰ってきたらこの町に恩返し！という教育方針は賛成です。</p> <p>○時代に対応した教育の充実→市政や大人がマイノリティを排除するような物事の決め方、学校や家庭での大人の態度を子どもたちはよく見えています。意見を募ることは素晴らしいので、さらに話し合いの場を設けたり、妥協案を探したりと、子どもに魅せられる背中を市民全体でつくりたいです。</p> <p>○スポーツの振興→少子化でスポ少などが大変ということはすでに資料にもありましたが、実際に大変です。要望がある場合は市のバックアップでクラブチーム設立も視野にいてはいただけないでしょうか？野球を練習する場所もないので、子育てにも出てきた公園の整備時に併せてボール遊びもできるような区画も作ってほしいです。</p> <p>2 防災について</p> <p>海岸防潮堤の整備と資料の各所で出てくる事柄の両立のイメージが沸きません。</p> <p>政策3 教育で市内の小中高校でのマリンスポーツ体験教室開催とありましたが、砂浜がなくなったり海が見えなくなることで開催できなくなったりしないか、海の良さが伝わるのか心配です。</p> <p>政策4 水産業の振興 潮の流れの変化、砂の減少による生態系への影響が心配です。</p> <p>政策4 観光業の振興 海岸線の良さを活かしたプロモーションは可能なのでしょうか？車にサーフボードを積んだ車をたくさん見ます。サーフポイントをつぶしたりしていないのでしょうか？それが心配です。</p> <p>政策5 都市基盤で良好な景観形成とありますが、地頭方を見る限り想像がつきません。</p> <p>政策6 移住定住の推進で豊かな自然環境、温暖な気候、地域資源を活かしたライフスタイルを創出とありますが、やはり両立の画が見えません。</p> <p>政策7 シティプロモーションの中にも防潮堤があるからこそその安心感もいづれ入る</p>

	<p>のだと思いますが、政策5と同様、イメージが沸きません。</p> <p>市民の命と財産のためにと考えていただけたのはありがたいことですが、砂浜がなくなり観光資源がなくなり、移住者もいなくなり次世代も町から出ていってしまう・・そんな景色だけが頭をよぎります。何か他の形にできないのか？もっとたくさんの市民と意見を出し合って決められたら理想的だなと感じます。</p> <p>政策7 市債残高の考え方 ある程度の借金は運営上仕方のないことと思います。ただ、私たち世代が決めたものの責任を次世代に、というのは悲しいです。通常家庭に例えると、「あんたたちもいずれこの家に住むから一緒にローンは当たり前」と子どもたちに相談もせず無駄に大きな家を建てるのと変わらない気がします。でも税金たくさん払えなくてごめんなさいね。</p> <p>3 「日本一女性にやさしいまち」の推進について</p> <p>冒頭でも書きましたが子育てがこんなに大変だとは、と感じています。</p> <p>まだ我が子が赤ちゃんだった頃、こんなあったらいいな、と思ったものがあります。</p> <p>「みんなの実家」</p> <p>保育園に子どもを預けて仕事をしていたら熱が出てお迎えが必要になった、子どもと毎日24時間一緒でご飯も一人で食べられない、トイレのドアは開けばなし、寝るまで寝れない、誰でもいいから旦那と子ども以外の人とお話したい・・・</p> <p>こんなときに頼りになるのは実家、でも全員にあるわけではない。</p> <p>元気な高齢者と子育て中の方が協力して、お迎えやちょっとしたサポートができる体制(場所)があれば嬉しいです。仕事復帰前のお母さんや元気な高齢者で運営、そこに子育て用品リユースショップ等を併設すれば、粗大ごみも減りSDGsの取り組みにもなるのでは？</p> <p>いつも牧之原市のためにありがとうございます。</p>
3	<p><前置き></p> <p>第3次総合計画は、近未来の牧之原市の姿、あり様を構築するため、縦軸、横軸ともに充実した構成となっています。関係部局並びに市民関係者の今日までのご協力に新ためて敬意を表します。</p> <p>国内外ともに厳しい時局を迎えている中で、市債残高が200億円を超え、このままでは債権管理団体に陥りかねません。この計画を進めるにあたっては、多額の投資が必要となってきます。計画推進に当っては、市役所の各担当部局が予算管理を行っていくこととなりますが、項目毎に目標数値をしっかりと押さえておくことが大切です。合わせて、数字上の実績把握に留まらず、職員一人一人の働き方改革、考課・評価、配置等々にも係ってくるものです。この点の押さえをしっかりとお願いします。</p> <p>合わせて、この計画は改革であります。それも痛みを伴う改革でもあります。そのご覚悟でお進めいただきたく思います。</p> <p><u><基本計画について>政策7、施策1、市民の期待に応える組織づくり</u></p>

この計画の推進には、その推進を担う市職員の取り組み意欲と実行能力の向上が不可欠と考えます。ジェンダーフリーで能力や感性を高め、発揮できる“環境づくり”、“人材の確保と育成”、“成果を評価する仕組み”が必要です。方向性の中にある「業績評価や能力評価」と「その活用」とは、具体的にどの様なものでしょうか。従前の仕組との相違点で教えてください。

＜重点戦略プロジェクト＞戦略3、日本一女性にやさしいまちについて

千葉県流山市では、首都圏のベッドタウンであることを考慮し、働きながら子育てしやすい環境をつくることで、子育て世代の定住を実現しつつあります。牧之原市でも製造業種が集積している利点を生かして、働きながら子供を預け易い保育環境の確保等を考えてはいかがでしょうか。結婚、出産、育児、保育、学業の集積と言った連綿性のある生き方、環境こそが、人口減少を食い止める有力な手段であると思います。

＜重点戦略プロジェクト＞戦略5、次代を切開く新たな学校づくりについて

小学校の統合、再編成プロジェクトが進行している中で、当該地域の起郷家教育をひとつの軸として考える事は良いと思います。一方、保護者の視点からすると、基礎的な学力をしっかりと身に付けさせたい、と言うのも本音であると思います。子供なりに大規模校の中で切磋琢磨する環境はとても大切なことと思います。小中一貫校の次のステップとなる高校との連携も必要になってきます。「地元の特性を学びつつ、より一層の基礎学力を高める」も、教育環境の充実の中に押さえておくことが必要と考えます。

今春、ご近所の中学生3人も、市外の高校に進学しました。一芸に秀い出ることを否定するつもりは全くありませんが、やるせない思いでした。灘、開成、筑波附属といった全国からポテンシャルの高い生徒が集まるスーパー校を目指すのはともかく、せめて現状より入試偏差値を高め、市外に流出していく中学生の流れを止めるだけの教育内容とレベルであって欲しいと思います。

＜雑感＞

第3次総合計画は実に多種多様な課題に取り組むこととなります。第1、第2次計画の総括をしっかり行なっていただくと共に、限られた人員や予算の中での取り組みが期待されます。

人口減少問題も含め、程度の差こそあれ、全国の自治体が当面している課題ばかりです。その中でも、創意工夫によってキラリと光る実績を挙げつつある自治体が存在することも事実です。こうした先進事例からは多くのヒントが生まれています。これらを素直に学び、ベンチマークして行っていただきたいと思います。

重複する意見となりますが、基本計画の性格上、止むを得ない所はありますが、現状や目標に関しての「数字（数値）」がほとんど出てきていません。年度毎の実行計画の段階では、必ず5W2Hに基づいた「数字（数値）」目標を入れてください。

以上。

乱文・乱筆、誤字・脱字をお許しく下さい。

4	<p>基本構想(案)について</p> <p>3. 計画の構造</p> <p>第3次総合計画は<u>牧之原市自治基本条例第15条の規定</u>※・・・・・・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本構想(案)全体の中では、※ぐらいしか書かれていないのはどうか。総合計画を出すにあたって、もっと自治基本条例を生かして、構想すべきだと思う。(前文) L13 <u>市民、議会、行政</u>が一体となってこのまちを築いていくため・・・・・・・・にある通り、市民を大切にしない、計画は、響いてこない。 例えば、戦略5 学校づくり (基本計画 P37) 「協働のまちづくり」と言いながら、学校再編ありきで進めている。不安をかかえている市民との対話をもっと丁寧にやっていくべきである。 市民の声、小さな声、弱い者の声を聞かないで、進める計画では、牧之原の未来は、期待できない。
5	<p>①過去の説明会に出席出来ず広報のみで経過を見守ってきましたが菅山区の住民には正直伝わっていないのが現状です。今後計画を進めるに当たって今からでも遅くないのもう一度丁寧な説明会を希望します。これから出産する人や乳幼児の保護者等も対象に説明会やワークショップを開いて欲しい。</p> <p>②地域に学校が無くなる事で今以上に人口が減り地域が衰退していく恐れを感じる。減るから統合では無くてもっと人を呼び込む政策をやってから考えるべきではないか？</p> <p>③学校運営を地域の人と共に進めるコミュニティスクールも地域主導が一部の人達だけの運営に成りかねないのでは？地元にあつてこそ連携が取れるのでは？</p> <p>④新しい学校の建設予定地を早く知らせるべきだと思う。</p> <p>⑤教職員や児童の声も市民に伝えて欲しい。</p> <p>⑥牧之原市の事をみんなで考え対話出来るような町にして行けたら良いと思う。 対話の町牧之原市は一部の人のものだけになっていると思う。市民が対話の町を実感していない所に問題があると思う。</p> <p>⑦将来学校に通う選択よりオンライン授業を充実させて既存の学校で触れ合いの場や地域住民との交流の場として残し運営していく方が良いと思う。</p>
6	<p>堤防作り反対です。 意味がわかりません これから堤防を作りどのようにして行くのかしっかりと説明して下さい。</p>
7	<p>牧之原市の自然や地形を活用した街づくり計画を希望します。 駿河湾に面した豊かな砂浜や、景観を守る事。 防潮堤工事は中止して 住民の命を守る為に、高台避難計画を進め耕作放棄地や山間部の宅地開発を可能にする。 宅地開発においては、SDGS の理念に添って世界の例を参考に、 牧之原市の面積にたいしての樹木の比率、排水やゴミ問題に配慮した持続可能な設計をする。 開発工事においては</p>

	<p>市内の事業者の仕事を増やし、雇用を生み子育て世代への配慮をする。</p> <p>企業の誘致もはかり移住者の増加、海外からの旅行者、定年後の移住者等、多くの人達に関わる牧之原市としたい。</p> <p>沿岸部においては、観光農地利用や観光エリアとして活用し街の収入源となるように活用する。</p>
8	<p>新形コロナ第七波がいつ収まるか、生活方式が変わってしまった中、行政の業務も大変やりにくい日常と察します。</p> <p>第3次総合計画検討の際、提案したいと考えたことは、市発足からこれまでに人口減少が著しい事です。平成7年のピークで52,000人から今は43,000人です。地域活性化の為に何が必要か。</p> <p>1、地域の賑わい施策として</p> <p>歴史的文化的景観の保全は、地域の歴史的遺産や文化財に愛着を持ち地域住民が親しみと誇りを持てるような歴史的・文化的空間の保全と創出に努める。</p> <p>2、市内の史跡や地域に埋もれている歴史的文化的遺産を掘り起し、静岡空港近在に資料館を建設し展示する。</p> <p>3、堂ヶ谷廃寺、堂ヶ谷経塚は10世紀後半～15世紀後半に亘る寺院跡で山林寺院は鎌倉時代の磁石建物三間堂・五間同が確認されています。又、1号経塚からは63点の腰刀、折り曲げられた黒漆大刀1点など確認されています。</p>
9	<p>小中学校統合の件ですが</p> <p>賛成ではありませんが、大反対と言うものではありません。</p> <p>何事においてもそうですが決定に至るまでのプロセスが大事であることは言うまでもありません。</p> <p>小中学校の統合については意見を求めますとのメールを見ましたが、それに対して皆さんの意見がどの様であったかは目にしていません。あれよ、あれよの間に決まった感じがします。</p> <p>あまり反対意見が多く出なかったのかもしれませんが、これだけ大きな問題であるので激論を交わす為にも、一つの方法として小学校の家庭教育学級等に、この用紙を全員に配布し、<u>無記名</u>で若い親達の正直な気持ちを出してもらおう等の<u>工夫</u>が必要であったと思います。名前を出して又、声を張り上げて自分の意見を素直に伝える事が出来る人ばかりではないことを考えると最低限この方法は、やらなければいけない事であったと考えています。</p> <p>以上書きましたが、もし私が認識不足で全て済まれていることであれば申し訳ありません。</p>
10	<p>小中一貫校より、小学校、中学校は別の方がいいです。</p> <p>菅山小は、高学年が下級生をみてくれたりしていて、高学年とのかかわりが多いが一貫になると高学年と下級生のかかわりが減る気がする。</p> <p>人数も増えることにより、個人個人の良さが消えてしまうのではないか</p>

11	<ul style="list-style-type: none"> ・通学が不便になりそう ・詳しい説明がないままでいいのか？ ・地域のつながりが、なくなる。
12	<p>地震があった時津波が心配 山から海に行く事はないと思う 今のままで良いと思う 人数が多くなると子供の1人1人に目がとどかなくなる。</p>
13	<p>相良に防波堤を作るという話を聞きました。何故、防波堤を作るのでしょうか？ 岩手県宮古市田老地区にあった全国最大規模の津波防波堤は、住民にとって安心のよりどころだったと聞きます。しかし、東日本大震災の時、防波堤があるからと逃げ遅れた人も多くいたと思います。</p> <p>想像を遥かに超えるサイズの津波が来た。そんな言葉で、被災者の方は納得いくのでしょうか。自然が相手なのだから、予測しようがないのではないと思います。だったら防波堤ではなく、避難タワーの増設や山の方へ住宅街を作成するなど、他の方法があるのではないのでしょうか。</p> <p>また、「SDGsの目標:14 海の豊かさを守ろう」とあります。海に、ビーチにコンクリートを建てるのは、海の豊かさを守ろうとしているのでしょうか。相良のビーチにはウミガメが産卵をしに来ると聞きますが、そのカメたちはどうするのですか。年々ビーチが狭くなっているというのに、それを助長させていいのでしょうか。別の方法があるのではないのでしょうか。</p> <p>ご検討お願いします。</p>
14	<p>学校再編について 令和12年の目標人口が40000人に対して、学校は子どもの数の減少を理由に少なくしようとしています。</p> <p>何故なのでしょう？ 既に人口減少を止めることが今の行政では出来ないと思っているのでしょうか。残念です。</p> <p>牧之原市住民になった人が出ていく現象をバケツの穴に例えると、いくらバケツに水を入れても水は貯まりません。</p> <p>穴を塞ぐ必要があります。</p> <p>穴の1つは・・・と言ってもこの穴はかなり大きめの穴なんです、近所に友達が出来るかどうかです。</p> <p>話し相手が出来たら確率高く住み続けます。</p> <p>結婚でこの牧之原市に住むことになった女性は、子どもの成長に合わせて保育園・幼稚園の送り迎えや小学校での役員をやることで自身の友達(ママ友)が出来ます。</p> <p>住居の近くに学校は必要です。</p> <p>今のやり方だと知り合いが出来ずにどんどん出ていってしまいます。</p> <p>カウンセラーに意見を聞いたことがありますか？なかったらダメですが、それでもなか</p>

	<p>ったら今からでも聞いてください。</p> <p>さらに、私が住む萩間小学校は転任してきた先生方が異口同音に「素晴らしい」と誉めてくれます。</p> <p>萩間小学校は多いときでも2クラス止まりでした。</p> <p>たしか、勝間田小もモデル校になっていて、あそこは地域の保護者が元気でイベントもやっています。</p> <p>この2校に共通する素晴らしさと3クラス以上ある他の小学校の問題点を比べても、現在の学校再編の方向は間違っています。</p> <p>牧之原市を出ていくかどうかはコミュニティ次第です。</p> <p>地域に知り合い・ママ友をたくさん作れるように、バケツの穴を塞ぐように、考え直してください。</p> <p>男性には理解できないかもしれません。</p> <p>女性を中心に据えて考えてください。</p>
15	<p>まず初めに、これからの行政の動きを決める大切な総合計画なので、登録数が多い公式ラインを使い、パブコメ募集を広く求めたほうがいいです。</p> <p>私は、森下さんの土地を借りて茶畑を2015年から自然栽培方法を実践実験しています。県茶研センターの雑草、昆虫調査にも圃場を提供しました。今年で、7年間肥料農薬を使わない、持続可能な農業開発をしています。これからは、見せる農業と、観光農業が必要です。</p> <p>インター近くですので、県外から農場視察研修やお茶会を有料でしていきます。</p> <p>ベニフウキ畑では昨年秋に国産紅茶グランプリに選ばれています。今後国内、海外から農場視察研修や観光客受入増加を見越し、受入体制を茶畑にも作る予定です。</p> <p>インター北側高台開発候補地西側ですので、宅地造成後も、住民に活用してもらえるようにしてほしいです。</p> <p>私が、10年無肥料無農薬栽培をしてきて感じるの、作物を作り、土や昆虫、微生物の繋がりが感じることができると、幸福感は自然と高まること、家族や友達大切な人に食料を届けることは、幸せと、健康を手軽に手に入れることができると実感しています。ぜひ農地の上に宅地を建てる意味と、歴史的な土地利用を再考して、民間物流倉庫開発得意な、大和ハウスに丸投げで、宅地デザインするのではなく、国産材を使ったログハウスとダーチャという自給自足的な土地利用をデザインした家庭菜園を連結して地域交流としても活用できる自給自足農地とエネルギー資源自給型宅地にして地域交流と生涯学習として自給自足持続可能性を両立可能なモデル地域にしたなら、県外からも移住定住促進しますし、津波で沿岸部が更地化したあとで、リゾート地ビーチにしたなら海外富裕層の居住者も増えると思います。その人たちをもてなす場所やコトを産み出す中で新たな産業も出てくる。</p> <p>国が有機農業を25%まで増やす目標設定しました。今から地域交流と有機栽培それを住居と安全な場所と移動に便利な場所に造れば、価値が上がり、関わりたい市民も増えると</p>

思います。

行政が考える方向にファシリテーター制度を利用して、意見を聴いた様に見せるだけでなく、本気で考える市民をどう増やすか育てるかそれを考えると、今の高齢者や今までの価値観にとらわれている人たちが考え計画したものも、これからの若者で再考する必要があります。教育でも施設維持費を国で半額出してくれるから、小中一貫校にするという見え透いた計画も地区単位で再考して教育をどうしていくか、先生の働き方改革と施設統合をどうするか議論するべきです。そこを蔑ろにしている大人たちが作った市に若者は戻って来ようとは思いません、真剣に大人たちが子供の未来や地区未来について議論して計画していく、その行為を見せて参加してもらおう子どもたちに自分ごとと感じてもらえば、牧之原市に貢献する人材育成に繋がると考えます。長年で沈没した地域社会という世間、どう取り戻すか、簡単な答えは無いが、若者は、見える世界や考えも違いあるけど、受け入れる行政の仕組みが必要です。それがなければ、移住が増えても、定住し、次世代も牧之原市を選ぶとはならないと考えます。

教育牧之原型キャリア教育の意味が分かりません。次世代を切り開くとなっていますが、その計画を親世代が考えている時点で、ピントがズレていると考えます。次世代最低でも大学生などを取り込んで計画を再考してください。

教師の働き方改革と先生の社会性の研修や実際の社会に合わせた教育や指導してください。

1 クラスの人数も多すぎます。子ども中心に考えればハード面よりクラス人数を 25 人位に減らし、分からない時に気軽に分からないことを発言できるようにしてください。こちらの提言を取り入れて下さい。

<https://youtu.be/0dcVvYo0FkA>

なぜか、小中一貫校になりましたが、一貫校に子どもの影響が良いかどうかエビデンスが分かりません。

国会答弁でも中1ギャップは否定されています。こちらの本が参考になります。

https://wowma.jp/item/496615548?aff_id=PLA_m_552101

新築住宅に補助金出すのではなく、空き家活用に補助金を出すようにしてください。co2削減からも大切です。

放置山林を自伐型林業に対応出来るように林道整備に補助金制度や研修費支援してください。竹林は竹炭することで有効活用できます

<https://youtu.be/2bXRS3sg5uo>

デジタルサーバー問題はラインなどで問題になりました。こちらの本が参考になります。デジタル・ファシズム：日本の資産と主権が消える（NHK 出版新書 655）

有機栽培推進ですが、みどりの食料戦略からの観点でも、有機栽培農家を増やし、食料

自給フードマイレージでも地元で資源活用出来るように、私は、無肥料無農薬栽培をしていますが、米など作物も自然栽培方法を確立している。ものが増えてきました。有機栽培推進には出口が必要です。市内給食で活用することで安心して有機栽培農家になれます。

肥料農薬使用する資材投入型農業開発から地域資源と人材活用型の地域資源活用型農業に切り替える必要がありますので、研修費や助成金をゴミを投入する今の堆肥活用農業は飼料まで国産でなければ認めないなどで地域循環を強化する必要があります。そうすればお金も人も循環します。

<https://youtu.be/At4RR-N2vx0>

これらのことを統合的に情報発信して行くことで、牧之原のブランドができていきます。視察研修者、移住者が定住者になり次世代も地域で暮らすことが健康で幸せな世界を創ることになると感じるはずです。

幼児教育に投資することが人材育成には大切ですしコスパもいいです。使っていない公園や山林を森のようちえんにして、行くことが自然に感受性豊かなアーティストたちを量産できます。多様性が育ち現状打開アイデアが 15 年後には生まれるはずです。

https://youtu.be/o_ieP101NME

https://youtu.be/6PoWU2_b1sU

防潮堤も森の防潮堤にして、津波後の再生やリゾートビーチ活用出来るように今から仕組むべきです。森は直には出来ませんが年輪となり、次世代へ価値となり受け継ぐことができます。松枯れなども土中環境悪化が原因のことは多いです。こちらが概念です。

<https://youtu.be/i541AWtmRiM>

時間が短いのでここまでにしますが、募集期間が長ければまだ問題はあります。